

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度 10月

運動会で得たもの

校長 菊池 修

9月28日(土)絶好の運動会日和の中、今年度の運動会が行われました。保護者の皆様、地域の皆様には学校まで足をお運びいただき、子どもたちの応援をありがとうございました。二学期に入ってから、どの学年も運動会のために準備・練習を積み重ねてきました。徒競走、学年競技、学年演技の練習、さらには全校で行う開閉会式、全校競技、全校演技の練習も行ってきました。各学年とも学年演技には特に時間をかけて練習をしてきました。一つ一つの動き、隊形移動など良い発表ができるように教職員が工夫を重ね、子どもたちは努力を続けてくれました。その成果を、各学年、子どもたち一人一人が十分に出してくれました。発表が終わった後の子どもたちのすてきな笑顔がとても印象に残りました。

同じ日、ラグビーのワールドカップで日本がアイルランドに勝利し、テレビでもその勝利についてたくさんの番組で取り上げていました。そのなかで、今まで一度も勝てなかった相手、世界ランクでも日本よりも高い位置にあるアイルランドに勝てたことを大きな喜びとして日本の多くの人が興奮している様子も映し出されていました。中には「奇跡」とか「大番狂わせ」などの言葉も使われていました。しかし、日本の選手は決して「奇跡」とは思っていなかったようです。このワールドカップに向けて、強豪国のチームとの試合に向けての並ならぬ努力があったからこそその結果であると自信をもってインタビューに答えている選手がたくさんいました。試合の様々な場面で見られた素晴らしいプレーはその努力があったからこそのものであり、ある意味「必然」であるとも言っていました。想像を超える努力があったことがわかります。そして、観ている人達に感動を与えることができたわけです。

子どもたちも、運動会に向けてたくさんの努力を重ねてきました。だからこそ観ている人達に感動を与えることができ、多くの声援と拍手をいただくことができました。今後も努力を重ねることによって得られる喜びを味わうことがたくさんあると思います。逆に言えば、喜びは努力をするからこそ得られるものであるという場面に遭遇することが多くあると思います。易きに流れず、努力を重ねることの大事さ、すばらしさを忘れないでほしいです。

今回の運動会で得たもの、教職員にとっても子どもたちにとっても今後大きなプラスになるものがたくさんありました。得たものは決して偶然に得られたものではありません。努力を重ねてきたからこそ得られたものです。

保護者の皆様、地域の皆様には、その努力が発揮できる応援を本当にありがとうございました。また、運営面においてご意見等もあったかと思いますが、アンケート等でお知らせ頂ければ幸いです。今後の運動会、その他の教育活動に生かしていきたいと思っております。